

新潟医療センターニュース

第3号
 発行 JA新潟厚生連
 新潟医療センター
 発行責任者 田中憲一



2014年
笑顔を贈る!

(裏面もご覧ください)

初春に、平成25年下期接遇表彰職員的笑顔を贈ります!



日本中を温かい涙に包み込んだ夏川早介著のベストセラー映画第二弾、「神様のカルテ2」が近日公開予定です。一作目は「死を前にした患者のために働く医者でありたい」と望んだ不器用な医師の話。「命と向き合うこと」の難しさ、そして改めて、医療が病院から提供する一方的なものではない事を痛感。地域の中での病院の役割。「ともに考え、ともに喜び」の意味を優しい気持ちで考えることが出来た作品でした。

どんな職業でも、「仕事をとるか家庭をとるか」、考えさせられる岐路が大なり小なりある

のではないのでしょうか。二作目では、医療の現場において常に直面する少々ややこしい問題を題材にしています。「友情とは？ 愛情とは？ 仕事とは？ そして人間らしく生きるといふことは何なのか？」を、友との激突や夫婦のすれ違いを経て、恩師の生き様から命と希望をつなぐ物語です。

主題歌は、盲目のピアニスト辻井伸行の自作曲に詩をつけ、世界の歌姫サラ・ブライトマンが歌い上げています。心に染みる音色が映画に花を添えています。是非、ご覧ください。

(記事／大橋)



階段のび利用について

当院では患者さんの転倒・落下防止の為、階段を閉鎖しておりますが、開閉扉での通過は可能な状態です。冬季に流行するインフルエンザと急性胃腸炎を引き起こすノロウイルス等がドアノブから感染する恐れがあります。院内の清潔維持を心がけて

四月から土曜診療が
なくなります

新潟医療センターが所属する新潟県厚生連では全施設が順次「完全週休二日制」(毎週土曜日休診)に移行することとなっております。

現在、当院は第一、第三、第五土曜日の午前中に外来診療を行っておりますが、平成二十六年四月より完全週休二日制となります。

当院をご利用される皆様には、ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、救急の場合には従来通り対応いたします。

医事課長 玉木 和彦



医療豆情報

ドライスキン

寒い季節となり、手のカサつきといった肌が乾燥しやすい季節となりました。冬は暖房などで空気が乾燥しやすく、さらに、発汗や皮脂分泌も少なくなるため皮膚が乾燥しやすいのです。

私達は皮膚のおかげで外界の細菌やウイルスなどから守られており、感染などを起こすことなく生活することが出来ます。ところが、皮膚が乾燥すると皮膚のカサつきだけでなく、細菌感染によってかゆくなったり、赤く腫れ上がったたりすることがあります。また、皮膚がひび割れてしまったり痛みを感じることもあったり、アレルギーを発症してしまったりもありません。



お風呂上りにお肌すべすべ



新潟市江南区の結来ちゃんと逢衣ちゃん

皮膚の乾燥を予防するためには、保湿が必要です。保湿剤を塗るのが一般的な方法ですが、塗るタイミングが重要です。入浴時や水仕事、手洗いの時には皮膚の皮脂が取り除かれ、体の水分が一気に蒸発してしまいます。入浴後や水仕事の後など、できれば五分以内に保湿剤を塗ることをおすすめします。保湿剤を正しく使用し、皮膚の健康を保ちましょう。

皮膚・排泄ケア認定看護師 西片 一臣

編集後記

ノロウイルスによる集団食中毒が新聞の紙面をにぎわしています。インフルエンザも含め、寒い季節に元気を出すウイルスと私たちはどう闘えばいいのでしょうか？ 感染しないための予防も必要ですが、それらに負けない免疫力をつけておくことも大切です。

免疫力低下の要因のひとつにストレスがあると言われています。温かなお風呂につかったり、ハーブティーを飲むなどリラクゼーションする時間を大切にしたいものです。

一面の笑顔の職員のように毎日笑って過ごすのもありですね。